

『フィールドー』 集英社

古谷田 奈月／著

大手出版社で社会派の小冊子を編集する橘は、長年担当している児童福祉の専門家・黒岩文子のあるうわさを耳にする。直後に黒岩から届いた長文メールは、彼女が性的接触をしたとされる少女との関係や経緯についての告白だった。失踪した黒岩の捜索に奔走する橘は、趣味のオンラインゲームの仮想空間でのやりとりに癒やしを求める。



世の中のさまざまな矛盾に対して当事者であるフィールドー（登場人物）たちが語る言葉には、著者が考え尽くしたであろう嘘のない気持ちが織りまぜられ、読者に揺さぶりをかけてくる。